



この秋、ボクらの「月の村」(岡山)で花をさかそうとしている。

2025年10月9日、あの世のジョン・レノンと、この世の究極の片割れ(母神)愛妻はるかの49歳の誕生日、縁が起きてモンゴルから30年以上も前に牛窓(岡山)にやってきた瀕死のゲル(パオ)を修繕補強し、みんなの手でイノチを吹き込み月の村に立て始める。

そして月の村33000坪世界を(大地の再生)し、アフガニスタン北部山中からやってくる特注の直径8Mの(虹のパオ)建立に向かっていく。

—虹のパオ建立プロジェクト@月の村(岡山県総社市の山中) —

この(世の縁側)を超えて、超へないと観れない(なにか)が、ボクの内奥から突き動かし、外奥からの引力(未来力)が迫ってきてているのだ

この秋、岡山の山中で、その(なにか)に向っての(ミラクルカオス♪)を!

キセキの時空を共に!!

自分のgood&GODなタイミングで月の村にテントを張り、薪を集め自炊し、共に虹のパオを建て乍ら、場に感應した自分から沸き起る(想い)を(形)にし、その産まれた感染力ある(形)に感染させられたひとにさらなる(想い)がふくらむ。そしてそのまま冬を越してもいいし、自分の(世の縁側)として月の村を旅のベースにして、

2027年10月9日から64日間の祭り(たましいのかくじっけん)第5弾へと融合してもいいし。

とにかくも、(人間家族)を超えて、ボクら『宇宙家族』はずっと(ここ)に居て(世の縁側)からアナタの登場を♪

わくわくドキドキ♪

致死率100%のこの世の中、

いったい、ヒトは、どこまで、飛び、翔べるんだろう??

とにかくも、またあした、日が昇る!

一一瞬先は、ひ・か・りー
何が起きても、

ありがとろん!おめでとろん!!

一目先のコトに、全細胞を!!!ー

HAVE A NICE DREAM

一生きてるだけで、100点満点!!!ー

『とろんの月の村通信 結の章』

—2027年10月9日から64日間の祭り(たましいのかくじっけん)第五弾に向けて—
やる側でもなくやられる側でもなく(縁側)でひなたぼっこ♪

コロナさまのせいかお陰様か、ボクらのお店「太一や」(岡山県総社市の天空333M)は8月はまるまる夏休み。今年の8月は家族5人全員でタイへ♪長男(太一)が今年の8月6日広島の日(ボクの両親はこの日広島で被爆してるので、ボクらは被爆2世、3世)19歳になるのだけど、2013年春に日本に(移住)してから一度もタイにかえらないまま12年以上が経ってしまった。

「おとちゃん!ボク、小学校にはいるんだしたら岡山がいい!!タイだと絶対学校へ行かないよ!!!!」と宣告したのが、太一が6歳の時だ。

そして今年の冬「おとちゃん!10代最後のボクの誕生日はタイで迎えたい!!」といいだしたのだ。タイ北部山中の桃源郷PAI郊外の共同体「ムーンビレッジ」の我が家で産まれ育ったので、タイは太一の生まれ故郷なのだから。

そんな太一は日本に(移住)してからは中学一年はまるまる不登校して、コロナさまのせいかお陰様か、突如猛勉強して高校へ進学したけど「ちょっと違う!」といって2年で退学してしまった。そして(世の中)から(世の縁側)に立ち、やる側でもなくやられる側でもなく(縁側)でひなたぼっこを始めたのだ。そのとたん、(難病指定)され(精神障害者手帳)保持者と成って「ちょっと違う」世界に突入してしまった。

でも、そんな太一だったからこそ、ボクらは猫ちゃんや亀ちゃんを預けて留守番してもらい、昨年夏の(いのちの祭り2024)に10日間も家族4人で参加できたのだから。

その祭りで蒔かれた種が、今年の秋、ボクらの「月の村」(岡山)で花咲こうとしている。

1969年、18歳の時、(世の中)では進学か就職の二者択一しかなかった時代に、ボクは日本脱出(世界放浪)の道を選んで(世の縁側)に立ってから、もう半世紀以上になる。(ボク)という(世の中)にまかれた強力な種は変わりようもなく、今、74歳を迎える中、(世の縁側)をも乗り越えようとしている。

ボクが3歳の時、目が覚めたら母は自殺していて、ボクを残してこの世からバイバイしてしまった。その記憶が始まる以前の3歳児の絶望と悲しみと涙の果ての諦めのせいかお陰様か、ボクの片割れ(母神)を求める度を超えた(求愛活動)が幼少から始まった。その度を超えた(求愛活動)のせいかお陰様か、『純粋単細胞的思考』『まるだしのエクスタシ~』『とろんのダイジョ~ぶ経典(ストラ)』(共に晩聲社刊)という前代未聞の三部作がこの世に誕生したほどだ。そしてその度を超えた(求愛活動)の極まりの一点で、ボクが54歳の時、二回目の離婚直後、あ!!!!っと片割れ(母神)と遭遇し、太一を筆頭に3人の子供たちがこの世に誕生したのだから。

3歳から始まった常軌を逸脱した(求愛活動)は、実は、この世に産まれてしまった(ボク)の道、他とは交換不可能な自分だけに与えられた(道)を求める旅でもあった。(世の中)では観えない、(世の縁側)でしか観られない(唯一無二の風景)を観てきたのだけども、74歳のここに至って、この(世の縁側)を超えて、超へないと観れない(なにか)が、ボクの内奥から突き動かし、外奥からの引力(未来力)が迫ってきているのだ。

(いのちの祭り2024)でまかれた種が、